

独居高齢者訪問記

～地域包括支援センターの職員と協力して～

垂水区 ドマーニ神戸クリニック 宮武 博明（医師）

神戸市垂水区内の某団地で介護医療の俎上に上がって来ない独居老人の方を訪問した経験を述べます。垂水区内の地域包括支援センター（神戸市では「あんしんすこやかセンター」と称します：以後「あんすこセンター」と略）から連絡戴きました。

事例①79歳女性でごみ屋敷状態。ほぼ2年間通院中断。息子さん夫妻とは音信不通。あんすこセンター職員と5回訪問しようやく医療介護に結びつきました。その後息子さん夫妻と連絡がつきサービス付高齢者住宅（サ高住）に転居されました。

事例②79歳男性でほぼ5年間通院中断。家人(妻とは離婚・二人の娘さんとは絶縁状態)から見放されています。あんすこセンターの職員と訪問。お部屋は荒れ放題。診察は出来ませんが採血は拒否。3回目ですらようやく保険証コピー戴く。4回目は高熱で弱っておられ救急車要請し近隣の病院搬送。総胆管結石で入院するも検査処置拒否され4日目に退院。認知症サポート医で某あんすこセンターから最も近隣の私に依頼があった経緯があります。

この2事例についての顛末を詳細に発表させて戴きます。